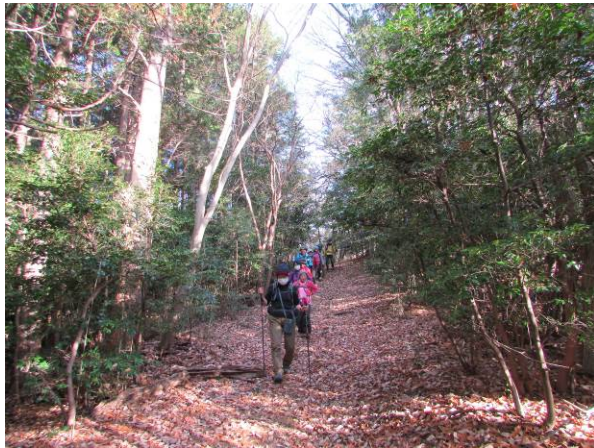


加波山山行報告

【山行日】2023年 12月 17(日) 晴れ
【集 合】鹿窪運動公園P AM 6:00
【費 用】マイカー2台 : 900円
【メンバー】CL:鈴木ユ、SL 藤原ト 伊藤、飯野、
植竹、大塚、嶋田、関、廣瀬、福島、渡辺
【コースタイム】鹿窪運動公園 P6:00＝雨引観音
P6:30/6:50～雨引山分岐 7:20～燕山 9:05/9:20～
加波山神社 9:30～加波山 1945/10:00～加波山神
社 10:15～燕山下東屋 10:30/11:00～燕山 11:10
～雨引観音 13:05/13:30＝鹿窪運動公園 P14:50



今日は毎年恒例の日光白根山新雪トレーニングの予定でしたが、参加者が少なく中止になった。代替山行として加波山を計画して募集したところ、12名と大勢の参加者がありとても良かった。



当日体調不良で1名キャンセルがあり、11名で鹿窪運動公園を出発した。国道50号線を東に進み、鎌田の交差点を右折して雨引観音の広い駐車場に着く。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。石段を登り山門をくぐって境内に入り、多宝塔の前で記念写真をパチリ。本堂の前を通過して境内を抜け、標識に従って山道を進む。落ち葉が積もって滑りやすい道を登り、雨引山から加波山への縦走路に出る。小休止して衣服調整し、水分を補給したら出発する。

直ぐに丸太の階段で急降下し、後ろから「帰りはこの登りがきついんだよね。」と聞こえてくる。アップダウンを繰り返しながら稜線を進むが、尾根の向きによっては強風が吹き寒く感じる。赤松や桜の稜線は気持ちよく歩けるが、この時季は花が無いので彩に欠ける。篠竹の間の道や丸太の階段を登り、アップダウンを繰り返して登って行く。途中、何箇所か関東ふれあいの道の標識があり、加波山まで何キロと表記されているので励みになる。いよいよ燕山への登りとなり、本日のコース一番の急登が始まる。落ち葉で滑りやすく、備え付けられたロープを伝って登って行く。この尾根は風が強く、上衣を脱いでいたのでとても寒く感じた。ようやく登り上がると傾斜が緩くなり、風も弱く陽射しのぬくもりを感じられる。燕山の山頂はすぐそこだが、風を避けて手前の尾根で休憩を取る。リンゴや菓子が出され、エネルギーを補給する。燕山山頂で記念写真を撮り、少し下ると電波塔が立ち並ぶ脇を下って行く。



昼食予定の東屋を過ぎると舗装道路に出て、道なりに下って行くと加波山神社に着く。石の鳥居をく



ぐり加波山神社拝殿に参拝したら、拝殿脇の石段を登り加波山山頂へ向かう。杉木立が鬱蒼とした露岩が連なる稜線の登りになるが、苔むした石碑や石灯笼、祠、岩に祀られた御幣など、古来からの禅定道の雰囲気漂っている。手すりがある岩場を越え、天狗筒割石を過ぎると加波山親宮本殿、たばこ神社、加波山神社本殿と神社が続く。少し進むと加波山本宮本殿の前に出て、ここが加波山山頂で三等三角点が置かれている。鬱蒼とした杉木立の中で展望は無く、大きくまるい鏡石や国御

柱石など巨岩奇石が居並ぶ。鏡石の前で記念写真を撮ったら下山開始し、往路を戻って加波山神社に戻る。さらに舗装道路を戻って燕山手前の東屋でランチタイムとする。東屋には先客の男性が居たが、我々の為にテーブルを空けてくれた。お湯を沸かしカップ麺やスープを作り、皆さんが持ち寄ったお惣菜が皿一杯に並び豪華なランチをいただいた。お茶を飲んでデザートのリンドをいただいたら下山開始し、来た道を戻って雨引観音に向かう。復路もアップダウンが連続し、疲れた足には堪えたが無事雨引観音に到着した。境内の広場では太鼓の演奏や大道芸など催され、晴れ着姿の女性や家族連れで賑わっていた。売店脇のトイレを借りて済ませ、石段を降りて駐車場に戻った。靴を履き替えたら帰路につき、往路を戻って鹿窪運動公園へ予定より早く到着した。

